

より固まったTPP参加慎重派

★米オバマ大統領にかわいがられた一心でTPP参加にかじを切りたい首相・野田佳彦だが、G20を終え、フランス・カンヌから帰国したら国内のTPP参加慎重派包围網がより強固になっていたのは驚きだろう。推進派は政調会長・前原誠司や経産相・枝野幸男らで足りず、前幹事長・岡田克也、前官房副長官・福山哲郎らを週末のテレビに

担ぎ出し説明をさせたものの、国民からは「議論が熱くない」「よくわからない」との声が多く、功を奏したとは言えない。本紙の読者アンケートでも首相のTPP参加に説明不十分が過半数に達し、共同通信の調査でも内閣支持率は下落している。
★また新党日本代表・田中康夫が仕掛けた「TPP交渉協議への参加表明」を11月

政界地獄耳

12日からのAPECの場で日本政府は行うべきでないとする国会決議の実現に関する呼びかけ」が先週から始まり、社民党・阿部知子、公明党・石田祝穂、自民党・稲田朋美、小野寺五典、国益と国民の生活を守る会・城内実、民主党・斎藤泰紀、国民新党・下地幹郎、共産党・高橋千鶴子、新党日本・田中康夫、無所属・松木謙公らが呼びかけ人名を連ねた。
★田中は「みんなの党はT

PP賛成と言っているが、同党の川田龍平は薬品の扱いでTPPに懐疑的だ。民主も続々署名が集まっただけで、あがれ日本代表・平沼赳夫も署名したので、すべての会派が賛同した。各党の事情というより、個々の政治家が慎重派などというより、明確に態度を表明する意味が大切だ」という。明日(9日)にTPPに関して、政治は一つの結論を導き出す。
(K)

敬称略